

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪地域の文化・自然を伝えるための資料の作成、普及事業
事業主体 (連絡先)	スワンプロジェクト 岡谷市東銀座 2-13-28 株式会社 宮坂製糸所内
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,205,341円 (うち支援金: 772,000円)

事業内容

当プロジェクトは、平成28年の御柱の年に小学校の読み聞かせボランティアや図書館司書が、子供たちに地域の文化を分かりやすく伝える紙芝居を作成しようと始まった。子供たち(未来の担い手)に地域の文化を受け渡していくこと、またコロナ禍で読み聞かせ会などが自由に行えないことが今年度の課題だった。

今年度は既成の紙芝居『諏訪の御柱祭』『御渡り』を増刷した。また、紙芝居『八ヶ岳 自然編』『八ヶ岳 文化編』をさまざまな博物館と協力して作成した。コロナ禍で読み聞かせに行かれない施設のために4作品の読み聞かせを収録しDVDを作成した。また、かんでんパパホールにて読み聞かせ会を行い、普及を図った。



【 読み聞かせ動画収録 】

【目標・ねらい】

- ① 紙芝居『諏訪の御柱祭』『御渡り』増刷
- ② 紙芝居『八ヶ岳 自然編』『八ヶ岳 文化編』作成
- ③ 4作品の読み聞かせDVD作成
- ④ 小平陽子展(かんでんパパホール)読み聞かせ会開催

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 来年度の御柱や毎年の御渡り観測を見すえ、大事な文化を伝えるための紙芝居の増刷ができた。
- ② 紙芝居『八ヶ岳 自然編』『八ヶ岳 文化編』を各150部作成し、諏訪を1周して自然や文化を伝える資料のシリーズができた。尖石縄文考古館・八ヶ岳総合博物館・諏訪市博物館・長和町体験黒耀石ミュージアムなど、様々な博物館との連携ができた。
- ③ 読み聞かせを収録し、コロナ禍でも施設や学校などで利用して頂けるDVDが200部作成できた。
- ④ ホールでの読み聞かせ会を行い、イラストや紙芝居の魅力伝え文化の普及を図ることができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

今までの紙芝居に八ヶ岳が加わることで、諏訪を1周する資料の作成ができた。コロナ禍にあっても、利用して頂けるDVDの作成ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

コロナの感染拡大によりできなかった、3作品の読み聞かせの収録を来期に引き継ぎたい。また新たに、今年度話題になった諏訪の「黒曜石」について取り上げた紙芝居の作成を考えている。さらに地域を研究・発信している大学の研究室などと連携し、より広く資料作成を通じて知った諏訪の魅力について伝えたり、地元のカフェなどでの気軽なお話会の開催なども計画したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある